

2013年

新春

どうそ 満

議員活動報告



発行責任者 道祖 満

飯塚市鯉田2525-44

TEL 25-3280・22-9323

つくります!
newしいづがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

平成 25 年（西暦 2013 年）

新春のお慶びを申し上げます。

皆様、元気でお過ごしですか。

昨年の年末の衆議院選挙では、大変お世話になりました。

結果はさておき新しい年が新しい政権の枠組みで運営されて行くことになりました。

今年は参議院議員選挙も行われますが、年頭に当たってこの1年間が平和で安心して暮らせる年である様に願っています。

飯塚市では、「自治基本条例」の条例制定に向けて、市民代表や有識者による策定委員会が発足して、今年の12月市議会に条例案が上程される予定で毎月審議が行われています。（条例の内容については、早い段階で市民の皆様に公開され、意見を聞くことになると思います。）

今年も、安全で、安心して市民生活ができる環境を作るため、市議会議員活動を行って参ります。本年も温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

昨年の12月定例市議会では、「バイオマスによるバイオコークスについて」一般質問を行いました。

（平成24年11月14・15日
庁舎建設特別委員会にて東京都立川市と青梅市の市役所の視察を行いました。青梅市の市役所は、長方形の建物で両サイドに窓があり建物中央部に通路が設けられていて、通路を挟んでオープンスペースで各課職員が配置され通路に沿って市民対応のカウンターが設けられていました。）



（青梅市役所前にて、右は佐藤市議会議員）

バイオマス活用について一般質問

平成21年6月12日に、「バイオマス活用推進基本法」が制定されていますが、この法律の第1条では目的として、「この法律は、バイオマスの活用の推進に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにするとともに、バイオマスの活用の推進に関する施策の基本となる事項を定めること等により、バイオマスの活用の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって持続的に発展することができる経済社会の実現に寄与することを目的とする。」となっています。

この法律では、市町村においてもバイオマス活用推進計画の策定について努めることが定められていますが、飯塚市では県が策定していないことを理由に策定がなされていません。(福岡県では、糸島市が策定しています。)

この「バイオマス活用推進基本法」第33条1項に基づく、「バイオマス活用推進会議」が、平成24年9月6日に「バイオマス事業化戦略」を提案していますが、この中には、「基本的考えとして、地域のバイオマスを活用した自立・分散型エネルギー供給体制の強化が重要な課題である。どのような技術とバイオマスを利用すれば事業化を効果的にできるのか。技術とバイオマスの選択と集中によるバイオマス活用の事業化を重点的に推進し、地域におけるグリーン産業の創出と自立・分散型エネルギー供給体制の強化を実現していく。」とあります。

飯塚市内では、毎年街路樹の剪定、公園・道路・河川等の草木の伐採・刈取りが行われていますが、その量は約2200トンあり、その処分の方法は清掃工場と処理業者で焼却されています。また、市内では未利用間伐材が過去5年間で46830トンあるとのこと。これに加えて竹の処分の問題も生じています。

経済産業省北海道経済産業局が、平成23年2月に「平成22年度地域経済産業活性化対策調査事業(バイオマスの燃料利用ルートマップ作成調査)報告書」を出していますが、これによると、木質系バイオマスを原料に石炭コークスの代替を目的として「バイオコークス」を作り、ガス化熔融炉方式のごみ処理施設に使用した結果、補助があれば代替30%での経済性がある。代替60%では事業全体のコスト削減に努めれば経済性がある。合わせて二酸化炭素の発生量も抑制できるとの調査報告がありました。

また、この「バイオコークス」は近畿大学の研究技術で作られています。

平成24年5月の日本機械学会論文集に「高温ガス化直接熔融炉におけるバイオコークス使用による二酸化炭素排出量削減」の論文があり、JFE製のごみ処理施設で実験した結果、「通常コークスは等価熱量のバイオコークスで代替可能であった。通常コークスの削減率は50%以上に到達し、大幅な二酸化炭素の排出削減が可能であることを実証した。」と発表されています。

平成24年12月には、環境省から近畿大学は(株)トヨタ自動織機と共に「バイオコー

クス」を鑄鉄の溶解燃料として利用して二酸化炭素排出量削減を行った事で表彰されています。

以上のことから、飯塚市では、「バイオコークス」の原材料となる木質系の間伐材、竹、伐採・刈取の草木等があり、市内には近畿大学あり大学にはバイオマス技術で「バイオコークス」を製造する技術がある。飯塚市では石炭コークスを利用するガス化高温溶融炉方式のごみ施設がある。国が示したバイオマス事業化戦略の事業化を推進する環境が整っていると考え、市に対し「バイオコークス」の利用で二酸化炭素削減に取り組む様に提案致しました。

これに対して、市では平成 23 年度から「低炭素社会先端技術開発支援事業」を手がけている。産学振興課においては循環型社会構築には画期的な技術であるので、この取り組み注目し今後実証フィールドとする産学連携のモデルとして検証していきたいと考えている。

環境施設課としては、J F E 製ガス化溶融炉と飯塚市の新日鉄製ガス化溶融炉では内部構造・設計思想に違いがあるので今後研究が必要であると考えているが、清掃工場の主燃料のコークスは、主に中国に依存しており国際情勢の影響で価格が変動して安定していないことから、バイオコークスによるコスト削減及び二酸化炭素排出量削減が期待されると考える。飯塚市と同型の新日鉄製ガス化溶融炉の大阪府茨木市の環境衛生センターで平成 25 年 4 月以降に近畿大学のバイオコークスを使って実証試験を行う予定であると新日鉄住金エンジニアリング・日鉄住金環境プラントソリューションズから情報を受けており、今後これらの動向を注目すると共に内部構造・設計思想に違いがあることから調査研究を行っていく考えである。との答弁でした。

(経済建設委員会で、市内の刈取り・伐採された草木の約 2200 トンの処理については、約 2200 トン中約 1300 トンが処分経費 1700 万円を作業業者に支払った後、ガス化溶融炉の清掃工場に持ち込まれ焼却処分され、残り約 900 トンが処分経費 1170 万円を作業業者に支払われ別の場所で焼却処分されていると報告されました。平成 23 年度の清掃工場のトン当たりの処理経費は 23424 円です。従って、単純計算で $23424 \text{円} \times 1300 \text{トン} + 1170 \text{万円} = \text{約 } 4215 \text{万円}$ の処分経費が発生している事になります。)

飯塚市は平成 24 年 3 月に「第 2 次飯塚市環境基本計画」を策定していますが、第一次の計画と大きく違っているのが、新たに基本目標に「低炭素社会の構築」を目指すことを入れたことです。また、行政の役割としては、「地域の環境づくりを進める指導的役割を担います。自ら率先して事務・事業における環境配慮に取り組むとともに、構想、計画、実施のそれぞれの段階において、国・県との連携や地域の環境特性を考慮するなど事前の調整を行い、良好な環境の形成に努めます。また、市民や事業者の行う良好な環境づくりの適切な支援や指導に努めます。」としていますので、行政と大学と市民が協力して、低炭素社会構築の実現に取り組む自治体になれば良いなと思っています。

財政シミュレーションの作成

わたしは、市の財政状況の厳しい中で取り組む、小中学校の統廃合による建替え、浸水災害対策、新市庁舎建設、中心市街地の活性化等の数々の懸案事業について、今後の市財政のあり方の財政シミュレーションを作成するように平成24年1月12日開催の庁舎建設特別委員会で要望していましたが、昨年の12月定例市議会の際、各常任委員会に今後の財政見通しについてのシミュレーションが提示されました。

現在、平成25年度まで行政改革実施計画を（第一次改訂版）を実施していますが、これに加えて平成26年度から平成34年度までの9年間に新たな行財政改革に取り組む事を前提に今後10年間の財政状況を示しています。

③全体分

(単位:億円)

区 分	H24 (決算見込)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
歳入合計－歳出合計 A+B	9.3	2.9	0.7	△ 4.1	△ 18.7	△ 20.1	△ 24.3	△ 17.8	△ 13.2	△ 14.7	△ 13.1
行革効果見込額	0.0	1.1	3.3	4.8	7.4	8.9	9.4	10.0	10.2	10.8	11.2
行革効果額算入後歳入歳出差引額	9.3	4.0	4.0	0.7	△ 11.3	△ 11.2	△ 14.9	△ 7.8	△ 3.0	△ 3.9	△ 1.9

財政調整基金・減債基金増減額	取支バランスをとるために基金を積立または取り崩す額	17.1	4.0	4.0	0.7	△ 11.3	△ 11.2	△ 14.9	△ 7.8	△ 3.0	△ 3.9	△ 1.9
前年度繰越金	前年度余剰金で翌年度に繰り越した額	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

財政調整基金・減債基金年度末残高	取支バランスの調整及び地方債返済に使うための基金	105.0	109.4	113.8	114.9	104.0	93.2	78.7	71.3	68.7	65.2	63.7
------------------	--------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------

※年度末基金残高＝前年度末基金残高＋基金増減額＋基金運用等収入額(0.4億)。

市債年度末残高	地方債の年度末残高	542.4	611.7	730.0	768.2	788.2	781.4	785.9	762.9	738.6	713.4	688.0
---------	-----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

●参考1 普通交付税・地方債・公債費の全体額

(単位:億円)

区 分	H24 (決算見込)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
普通交付税の全体額	150.7	151.6	153.9	158.3	155.7	151.6	149.6	147.4	146.3	145.0	149.0
地方債の全体額	77.2	96.6	147.0	67.9	51.6	22.2	34.4	6.5	6.5	6.0	6.0
公債費の全体額	66.3	58.9	61.6	65.2	67.9	65.9	66.6	66.2	67.3	67.4	67.2

●参考2 行革効果見込額の内訳

(単位:億円)

区 分	H24 (決算見込)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
行財政改革実施計画[第一次改訂版]の効果		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
定員管理及び給与の適正化			1.2	1.4	3.2	4.3	4.8	5.2	5.4	6.0	6.3
公共施設の統合整理等			0.3	0.8	1.4	1.6	1.6	1.8	1.8	1.8	1.9
その他業務の見直し				0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
歳入確保			0.7	0.9	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
合 計		1.1	3.3	4.8	7.4	8.9	9.4	10.0	10.2	10.8	11.2

飯塚市議会議員 **どうそ (道祖) 満 *** 議員活動報告

②整備費の概要(平成24年度以降事業)

(単位:百万円)

区 分	整備時期及び対象施設 【前期】平成24年度～28年度 【後期】平成29年度～33年度	事業費	財 源			
			国県支出金	合併特例債	その他の財源	一般財源
小中学校整備費	【前期】小中一貫教育校(4校)、小学校(14校)、中学校(8校)	22,690	4,113	12,230	4,525	1,822
地区公民館整備費	【前期】鎮西、幸袋、穎田公民館 【後期】二瀬、菟田、飯塚東、立岩、鮎田、穂波公民館	2,072	0	1,952	0	120
文化・スポーツ施設整備費	【前期】文化会館、市立図書館穎田館、サンビレッジ西、歴史資料館 【後期】飯塚第1体育館、旧伊藤伝右衛門邸	2,357	0	2,120	111	126
医療施設整備費	【前期】市立病院、休日夜間急患センター	4,853	127	1,201	3,477	48
子育て・社会福祉施設整備費	【前期】幸袋、庄内、穎田認定こども園、穎田、幸袋地区、鎮西地区、穂波東地区児童センター、中央児童館(庄内中央児童館)、飯塚児童館、サン・アビリティーズいづか、筑穂保健福祉総合センター 穂波、筑穂人権啓発センター、立岩会館 【後期】菟田・徳前保育所、薬市・平恒保育所	2,049	40	1,856	43	110
衛生・環境施設整備費	【前期】清掃工場、環境センター、リサイクルプラザ	4,023	0	3,821	0	202
市営住宅整備費		6,582	2,962		3,291	329
その他施設整備費	【前期】市役所本庁舎	7,954	0	7,177	0	777
公共施設の整備計		52,580	7,242	30,357	11,447	3,534
浸水対策(建設関連事業関係)		6,361	409	5,654	0	298
浸水対策(防災関連事業関係)		388	0	369	0	19
中心市街地活性化関係(休日夜間急患センター除く)		6,004	2,417	2,273	0	1,314
水道事業会計出資金		1,832	0	1,832	0	0
活用済みの合併特例債事業(平成23年度までの事業)		7,106		6,782		324
合 計 A		74,271	10,068	47,267	11,447	5,489
平成24年度合併特例債未執行分(12月補正見込み)			B	593		
合併特例債活用現在予定額			C(A-B)	46,674		
合併特例債活用限度額			D	46,460		
合併特例債活用残額(超過額)			E(D-C)	▲ 214		

※合併特例債限度額超過分は今後事業を執行する中で調整する。

平成24年12月定例市議会が開催されました。

平成24年12月定例市議会が、11月30日から12月21日まで開催されました。今回の定例市議会では、平成23年度の各会計の決算の認定についての決算特別委員会の報告が行われ、認定されました。また、平成24年度飯塚市一般会計補正予算(第7号)を始めとする予算関係議案16件、条例議案25件、財産の譲渡(鎮西保育園)1件、福岡県市町村災害共済組合の解散に伴う議案3件、飯塚市過疎地域自立促進計画の一部変更1件、市道路線の認定1件、土地の処分(鯉田篠田団地跡地)1件、報告事項(学校給食費請求事件・事故に関する報告)11件、人事議案(人権擁護委員の推薦)1件、議員提出議案2件、請願(飯塚市議会のインターネット中継を開始すること)1件について審議を行いました。

平成24年度飯塚市一般会計補正予算(第7号)は1億6812万8千円を追加補正し総額を605億5700万2千円とするもので、主な歳出項目は次の通りです。

- ◎全会計人件費総額の減2億4311万6千円(退職者と採用者の給与差額及び未採用分による減、職員共済組合負担金の負担率変更による減等)
- ◎減債基金積立金の増8億6827万2千円
- ◎障がい者自立支援給付金の増2億9712万円
- ◎清掃工場管理運営費の減8781万6千円(燃料費の減・ユークス単価の減等)
- ◎潤野・蓮台寺・鎮西小中学校統合事業費の増2億7134万7千円(建設用地38231㎡の購入費)
- ◎歴史資料館口調設備改修工事の減4516万3千円

条例議案の主なものは、次のとおりです。

- ◎飯塚市事務分掌条例の一部を改正

西日本新聞

2012年(平成24年)12月21日 金曜日

健康都市を目指す
飯塚市は来年度、児童社会福祉部を「こども・健康部」に変更するなどの機構改革を行う。幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」を担当し、市教委が受け持つ幼稚園業務の一部を移

管、生活保護行政を管轄する保護課を児童社会福祉部から福祉部(旧保健福祉部)に移す。

市は機構改革の条例改正案を定例市議会に提案し、18日の総務委員会で可決された。こども・健康部は子育てと市民の健康づくりを特化。保健センター業務とスポーツ振興グループ業務を管轄するスポーツ健康課も新設した。

このほか、都市建設部に建設総務課と建築課などを新設。額田、幸袋、鎮西、穂波東各中学校区

飯塚市、来年度

こども・健康部
に改編

健康都市「目指し機構改革」

幼保併せ持つ施設担当

に新設する小中一貫校の候補地選定を終えたことから、市教委の学校施設建設に関する業務を移管した。

また、厳しい運営が続くコミュニティバスと予約乗合タクシーを担当する企画調整部公共交通対策課は廃止し、商工観光課に業務を移す。市は「次世代育成に向け、分かりやすく部署をまとめた。将来的には職員数の削減も視野に入れる」と説明した。

12/21 西日本

(山根崇)

する条例（平成25年4月1日から、行財政改革に基づく組織の再編「児童福祉部」と「保健福祉部」を、「子ども・健康部」と「福祉部」とする。企画調整部から統計に関する事を総務部に移行する。市民環境部から交通安全に関する事を総務部に移行する。総務部から財産の取得、管理、処分に関する事を財務部に移行する。市民環境部から国民年金に関する事を子ども・健康部に移行する。教育委員会から学校における体育に関する事を除くスポーツに関する事を子ども・健康部に移行する。）

◎飯塚市国民健康保健税条例の一部を改正する条例（平成25年4月1日から、国民健康保険税の税率を、医療給付費分の所得割額を8,5%から8,8%、資産割額を8,7%から6,0%、均等割額を19300円から23200円、平等割額を21200円から28500円に変更する。後期高齢者支援金分の所得割額を2,0%から3,1%、資産割額を6,3%から4,0%、均等割額を5300円から7800円、平等割額を5800円から9800円に変更する。介護分の所得割額2,3%から3,4%、均等割額を10800円から16200円に変更する。）

◎飯塚市立保育所条例の一部を改正する条例（平成26年4月1日から飯塚市立枝国保育所を廃止し、廃止後民営化するもの。）

◎飯塚市放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例（平成25年4月1日から、児童クラブ利用料を月額3000円から4000円に改定する。）

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律に関する法律」に従って、次の11件

の条例が審議されました。

- ◎飯塚市都市公園条例の一部を改正する条例
- ◎飯塚市道路構造の基準に関する条例
- ◎飯塚市道路標識の寸法に関する条例
- ◎飯塚市市営住宅条例の一部を改正する条例

西日本新聞 2012年(平成24年)12月22日 土曜日

飯塚市議会ネット中継へ

本会議で請願採択 市長も推進意向

飯塚市議会は21日の定例会最終本会議で、議会のインターネット中継を求めた請願を全会一致で採択した。斉藤守史市長は本会議終了後、「議会の要望に沿って進めていきたい」と実施する方針を示した。

本会議の討論では2議員が「県内の市の6割弱で実施されており、これからの自治体では当然備えられるインフラだ」「議会の新しい情報発信を検討する時期に来ている」と賛成意見を述べた。

請願は住民が市議会本会議と委員会をネット配信するよう求め、約1500人分の署名も添えて9月定例会に提出。今月7日には市自治会連合会有志会も兼本鉄夫議長にネット中継を求める要望書を提出していた。

議会側は実施時期や方法について、今後の議会運営委で具体的に詰め、3月定例会までに議員の合意形成を図る方針。

最終本会議ではこのほか、一般会計補正予算案や人権擁護委員の人事議案など50議案を原案通り可決し、閉会した。

◎飯塚市市営住宅等整備基準条例

◎飯塚市移動円滑化必要な道路の構造に関する基準を定める条例

◎飯塚市介護サービス事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例

◎飯塚市廃棄物の減量及び処理の適正化等に関する条例の一部を改正する条例

◎飯塚市準用河川の河川管理施設等の構造の基準に関する条例

◎飯塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例

◎飯塚市下水道条例の一部を改正する条例

この 11 件については、国、県の基準等を参酌して条例を定めたと説明がりましたが、「飯塚市市営住宅等整備基準条例」においては、駐車場について、木材の利用について、を市独自で定めたと説明がありました。

また、「飯塚市都市公園条例の一部を改正する条例」については、便所に関する基準が定められているが、便所の照明の設置について定めがないので運用の中で検討する様に要望致しました。

◎土地の処分(鯉田篠田団地跡地 23803.77 m²)については、平成 19 年 7 月に 2 億 1661 万 1 千円で公募致しましたが、売れず、今回 1 億 900 万円で公募したところ購入希望者があり、売却処分するものですが、この 5 年で約 353 万円の管理費が発生していました。

また、この土地は購入者で宅地分譲をする予定であるとのことでした。

◎飯塚市小型自動車競走実施の条例の一部を改正する条例(現在 100 円の入場料を平成 25 年 4 月 1 日から無料にする。入場料収入は 1700 万円～1800 万円の減となる予想。)

◎平成 24 年度飯塚市立病院事業会計補正予算(第 1 号)(平成 24 年度から 27 年度までに総額 40 億 6195 万 2 千円の予算で建替事業を行う。その内訳は、平成 24 年度から平成 27 年度までの工事管理委託料 6 4 1 8 万 1 千円、平成 24 年度から平成 26 年度までの本館新築工事費 3 5 億 6 4 4 1 万 8 千円、平成 26 年度東病棟改修工事費 1 億 2 1 2 6 万 5 千円、平成 26 年度から平成 27 年度まで診療リハビリ棟改修工事費 1 億 7 8 5 3 万 9 千円、平成 26 年度～平成 27 年度までの解体・外構工事費 1 億 3 3 5 4 万 9 千円となっています。この議案については、厚生委員会で審議が行われましたが、市は、病院の運営を行っている地域医療振興協会と打合せて、建替事業の費用の 25% の 10 億 1 5 4 0 万円を合併特例債の対象事業とした。その結果、病院事業債を活用した場合よりも病院に 4 億 8 2 3 1 万 5 千円の財政的メリットが生じるとの説明があり、市は建替事業に合併特例債を使うことによって市立病院の経営が安定する様に考えている事や医師の確保に努力している事が分かるが、地域医療振興協会努力している姿が見えないので見える努力をしてほしいとの意見、市立病院の長期の事業計画が地域医療振興協会から出ていないので現状経営状態が分からないとの意見等が出され、委員会では可否同数となり委員長の判断で可決され、本会議では賛成多数で可決されました。